

たんぽぽ通信

July
2017

Vol.94 2017年7月10日発行 薬局事業部



過活動膀胱について



梅雨の晴れ間には、気温が上がり、どうしても冷たい飲み物が欲しくなります。すっきりして、飲んでいる時はよいのですが、そのあとのトイレが気になります。最近トイレの回数が多い、我慢できないような切迫感がある。又は、トイレまで間に合わなかった経験はありませんか？もしかしてそれは過活動膀胱という病気かもしれません。今回は過活動膀胱についてのお話です。

◎ 症 状

- (1) トイレが近い（頻尿）、夜間に何度もトイレに起きる（夜間頻尿）
- (2) 急に尿意をもよおし、漏れそうになり我慢できない（尿意切迫感）
- (3) 急に尿意をもよおし、トイレまで間に合わない（切迫性尿失禁）

以上の3種類です。

どれか1つでも当てはまるものはありましたか？
テレビCMなどでは女性が罹りやすいイメージがありますが、
実は男性にも前立腺肥大症を患っている50～75%は、
過活動膀胱の症状があるとされています。



◎ 原 因

- (1) 脳と尿道を結ぶ神経のトラブルで起こるもの
- (2) 前立腺肥大症を患っている人が、何度もトイレに行って膀胱の筋肉が異常を来し、神経が過敏になり起こるもの
- (3) 骨盤底筋のトラブル（女性に多い）によって起こるもの
- (4) 何らかの原因で膀胱の神経が過敏に働いてしまうもの（原因不明）

以上の4種類があります。

◎ 治 療

治療もその症状に合わせて決まります。

- (1) 男性の場合、前立腺肥大症が原因になっている場合には、そちらの治療と並行して行います。
- (2) 薬物療法（抗コリン薬やβ3刺激薬）
- (3) 膀胱訓練（トイレに行く間隔を伸ばす訓練）
- (4) 骨盤底筋を鍛える（尿道を締める骨盤底筋の収縮力を高める訓練）



などが挙げられます。

トイレの悩みは、なかなか人に話し辛いことですが、日常生活に支障がある場合は、まずはかかりつけ医、かかりつけ薬局に相談しましょう。

たんぽぽ通信からのお知らせ

ご質問、ご意見などございましたらお近くのエムトウエムの調剤薬局にご相談ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

